

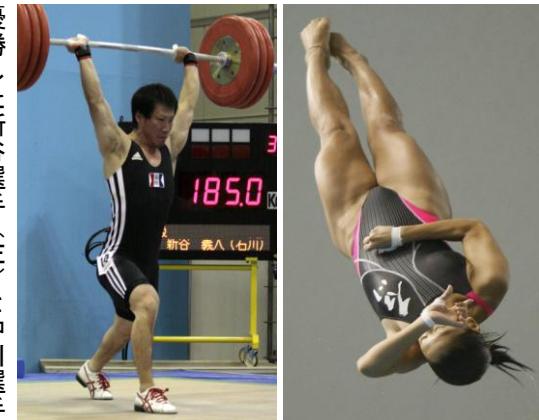
新潟国体でV攻勢

金沢学院の職員・学生・生徒

新谷重量挙げ4年連続2冠

高飛び込み中川、7年負け知らず

10月6日まで新潟県で開かれた第64回国体で、石川県選手として出場した金沢学院の職員、学生、生徒が好成績を挙



優勝した新谷選手（左）と中川選手
（北國新聞社提供）



相撲の少年団体で優勝した石川選抜チーム
（北國新聞社提供）

部員が主力の相撲少年団は連覇を果たし、個人でも黒川宗一郎選手が2位、高木立太選手が3位に入りました。中川真依選手（金沢学院大学4年）は水泳飛び込み成年女子で高、板と

グ成年77kg級に出場しました。新谷義人選手（金沢学院職員）はスナッチ、ジヤークとも制し、4年連続で2冠を得ました。

院大学4年）は水泳飛び込み成年女子で高、板と

グ成年77kg級に出場しました。新谷義人選手（金沢学院職員）はスナッチ、ジヤークとも制し、4年連続で2冠を得ました。

「ありがとう」が活力に

東高卒業生が職業講話



金沢学院東高校の卒業

生による職業懇話会は10月5日、同校体育館で行われ、卒業生である小松雅幸、河口卓億、定免一貴、加藤梨奈、福地悠貴の皆さん（写真上）が就職した動機や仕事のやりがいなどを語りました。卒業生は「お客様（写真下）」が言わされた時にやりがいを感じるなどと話しました。



イラストで説明する水井教授

絵本の魅力探る土曜大学

金沢学院大学基礎教育機構の土曜大学「絵本の魅力」は10月3日、金沢市南町の本学サテライト教室で開かれました。水井雅子教授は「絵が物語を語るとき」のテーマで、日本の作家と外国の作家がそれぞれ描いた「おおきなかぶ」の絵本を例に、画家の視点の違いで作風が大きく異なることなどを解説しました。大場吉美教授は「物語を視覚化する」のテーマで、視覚的に表現の魅力と有効性について説明しました。



寄付講座の講師を務める
杖村取締役（2号館）

金沢学院大学経営情報学部の金融論の授業枠で、10月6日、北國銀行の寄付講座がスタートしました。初回は同行取締役総合企画部長の杖村修司氏が経営戦略をテーマに講義を行い、約30名の学生が熱のこもった話を聞き入りました。寄付講座は11月10日まで5回行われます。

杖村部長は、経営戦略の定義、成功条件、戦略体系と戦術の違い、経営戦略の策定手順などを解説し、「経営戦略のない受身の姿勢では環境の変化には対応できない」と強調しました。

金沢学院東高校の地区別説明会は9月25日から10月15日まで5回にわたり、金沢市末町の同校と加賀市文化会館、穴水町のとふれあい文化センターを会場に行われました。このうち10月7日に

講演する大場教授

